

クラシック選手権の部におけるスタート時刻の一部繰り下げについて

2003 年度インカレ実行委員長 遠山 文規

今回、クラシック選手権の部において、スタート時刻の一部繰り下げという事件があった。今後の参考とするために、公式掲示板での回答・関連する調査依頼とその回答、現時点での見解について、報告する。

13 日午後 2 時ごろ公式掲示板に発表し、競技責任者がステージにて発表した内容を以下に記す。

選手権クラススタート時刻の一部繰り下げについて

11:30 頃、選手権コース上において伐採作業が開始されたとの情報がテレビ内の実行委員により報告されました。引き続き、現地の実行委員の状況判断では、競技の安全性を判断できないとの報告があった。そのため、実行委員会幹部、大会コントローラーは、現地の確認が不完全な状況では選手の競技上の安全を確保できないと判断したため、判断時点の 11:52 以降の選手のスタートを一時中断しました。

その後の状況の変化、現地の確認の結果、選手の安全確保およびレースに与える地図の変化がないことを確認できたため、レースの再開を判断しました。

未出走選手のウォームアップなどの時間を確保するため、告知から最初の選手がスタート枠に入る時間を 10 分取りました。

その結果、12:29 に未出走選手に告知し、12:42 よりスタートを再開し、50 分遅れでレース再開となりました。

インカレ実行委員会

また、この結果、以下の事項について 50 分遅らせて実施することも公式掲示板にて発表した。

- ・ 表彰式
- ・ リレーオーダー用紙の提出
- ・ 未帰還者リストの提出
- ・ 選手権の部ゴール閉鎖
- ・ 代表者ミーティング
- ・ 帰りのバス

14日になって、以下の調査依頼が8:15にあり、それに対して8:50に回答した。

質問内容：トレイン内で伐採が開始されたことにより、エリートクラスの一部の選手が50分間スタートを繰り下げられた問題について、以下の事柄をお尋ねします。

1. なぜ、レース当日に伐採が行われるということを把握できていなかったのか。
2. 50分もの長時間に渡ってスタートが中断されたが、状況の判断、情報伝達、最終的な決定のそれぞれに、問題、不手際はなかったのか。

スタート時間が遅らされたことにより、事前準備とモチベーションの維持に支障をきたし、動揺を受けている選手が見られました。また、スタート間隔が大幅に空いたこともあり、競技の公平性が損なわれた感は否めません。

以上の質問に回答頂き、この件の問題点を明確にして頂くことで、今後の再発防止につなげて頂きたいと思います。

回答者：遠山文規（実行委員長）・加納尚子（渉外責任者）

1. 合理的に可能な範囲での事前渉外は実施している。事前渉外は以下の通り。

- ・ 1ヶ月前、各地区長に地区会議での周知要請を通知
- ・ 1週間前、該当地区長に電話確認

但し、地元住民でもトレイン内の所有者等を全て把握しているわけではなく、渉外には限界がある。特に私有地を使用するオリエンテーリングの特性上、この種の案件を完全に排除することは不可能であり、事前に全てを把握することはできない。

2. 状況の判断については、競技よりも安全優先の原則を適用しており、問題・不手際は無い。

情報伝達については、山中の携帯電話の電波状況に問題があったが、その場合は人を派遣するという事前マニュアルに従った対応を行っており、不手際は無い。

最終的な決定については、報告後の判断は迅速に行っており、問題・不手際は無い。

今回、実行委員会が伐採の状況を確認した時点では、作業を止めて移動済みであった。大会終了後、実際に伐採を行っている様子を目撃したという競技者の話を聞くことができた。伐採作業が競技ルート上に来る可能性も想像できたという。このような事態になったこと自体は遺憾であるが、仮に競技を継続したとして伐採による影響が一部の競技者に出ているとしたら不成立は免れられないことを考えると、一時中断という判断は正しかったと今でも考えている。